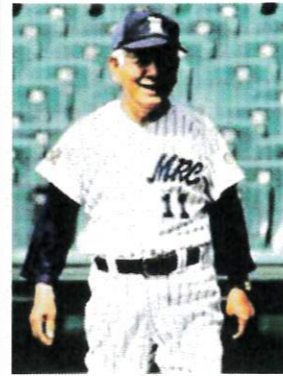


学友会大阪支部だより
和歌山県立南部高等学校学友会 大阪支部

事務局/〒537-0022
大阪市東成区中本5丁目12番26-1001
田村 繁雄 TEL:090-8821-1538
minabekoukou@aj.wakwak.com



ご挨拶
大阪支部 支部長 庄司修三郎

南部高等学校校大阪支部学友会の皆様いかがお過ごしでしょうか。皆様方におかれましては、各方面でご活躍の事と心よりお慶び申し上げます。

さて私は二年前に前任の梶本支部長より引き継ぎました、二期卒業の南部川村「筋」出身で現在箕面市で生活している庄司修三郎でございます。

コロナ禍蔓延している中で総会で会員の皆様とお会いする所でございます。本来であれば総会にて皆様と直接ご挨拶させていただきますところでございますが、コロナウイルス感染防止の観点により紙面でのご挨拶になりますことをご了承賜りますようお願い申し上げます。

ところで今問題になっていることを、二つ、三つの項目について申し上げます。と、会員の増強については、会員の高齢化による退会・会員死亡等色々あります。母校の一番大きな問題点は「少子化」又「学校の評判」等いろいろの観点により、南部高等学校の入学生が減り、定員割れが何年と続くと学校の存続問題が起ります。昨年の十一月に高校の新藤校長、内川教頭、狩谷先生の三名が来阪され、我々学友会の役員と「相談」「打合せ」をしたところであり、学校として、そして全国に生徒募集をするというところで、チラシも作って関係各方面にお願いをして、いろいろ様ですが、学友会の皆様にも上記のことを承知していただき今後ご協力を頂きたいとお願いに来たこのこととあります。私、支部長といたしましては、この問題は町民、町議会、町長の考え方が大きく左右すると思えます。大阪でも同じ事が四、五年前より起きて、もうすでに廃校及び統合になつていく学校が多

上記写真は筆者が3年前に甲子園での監督として出場した5度目のものです。高校時代よりの「夢舞台」に投手としても3度出場出来て大変満足しています。

この問題は少子化もあり、学校の評判及び風評被害の程度であると思つて、いままでは、世の中は長い年月でいろんな方向に向かっています。地元でよく考えて行動しないと町の存続にも繋がりにくいと、思うところがあります。

「世界の南高梅」ガンバですが、ほしいものです。僭越ですが、南高梅の生みの親「小山貞一」様の「南高梅」と共に歩んでほしいと思つています。学友会の方々からは大変な社会をなさつて、各家族一丸となつて生活してください。今後とも学友会にご協力、ご指導よろしくお願ひ申し上げます。

「小山貞一」様は私の隣のおじさんで私の恩人です。私の思想もおじさんの考えが入っています。

在校生作成の「梅干し」「ジャムセット」販売

販売実績の報告



昨年は「梅干し」の塩の結晶が、「カビ」かどうかで議論が発生した、物品販売の状況でしたが、本年度も無事販売することが出来、各員各位には大変感謝いたします。在校生の真心がこもった商品が先輩各位にお渡しすることが出来喜んで

協力会員十二名
「梅干し」四七個
「ジャムセット」

三ハセット
ご協力ありがとうございました。感謝！感謝

賛助会費、協力金のご協力を！！

学友会会員106名に対し、支部報中間報告、母校作成商品販売斡旋等を発送させていただいております。本年度も支部活動推進運営の会費といたしまして二千円（賛助会費1,890円+手数料110円）のご協力を、お願いします。又協力金の納入いただける会員につきましては、振込用紙にて納入方よろしくお願ひしす。

眠っていませんか
切手・葉書



学友会大阪支部では、会位の連絡関係で、郵送発送で行つてます。決算報告の中でも郵送代金の占める費用は多大の金額を占めております。つきましては会員各位のご家庭の中に眠っている切手、はがき（通常はがき、年賀状、書損葉書）等のご寄付を願えれば大変助かりますので、よろしくお願ひいたします。ご協力できるお方については、同封の受取人払い封筒に納入の上事務局田村まで返送お願ひします！！

令和3年度決算報告(R3. 3. 1~R4. 2. 28)

収入の部		支出の部	
繰越金	¥418,226	支部報	¥91,677
本部交付金	¥79,858	支部便り	¥71,570
賛助会費	¥188,000	生徒募集	¥49,858
協力金	¥194,736	事務費	¥36,225
企業協力金	¥70,000	通信費	¥38,697
利息	¥1	パソコン	¥13,153
		振込料金	¥21,575
		活動費	¥22,022
		繰越金	¥606,044
収入合計	¥950,821	支出合計	¥950,821

365日
梅干しのご用命は
〒645-0025
和歌山県日高郡みなべ町筋 312-3
TEL: 0120-417-372
ホームページからもお求め頂けます。
https://www.koyamanouen.com

小山農園
南紀特産専門店

GODAIAN
五代庵

和菓子・梅干しをお買い求めの際は
直営店でお買い求めの際は下記店舗まで
天満天神 五代庵
〒530-0041 大阪市北区天神橋 1-17-6
TEL: 06-6341-0011 和歌山県日高郡みなべ町筋 312-3
Homepage: 24時間受付
https://www.godaiume.co.jp

大海原を眺める露天風呂でリラックス

海を楽しむ宿 南紀・みなべ温泉
和歌山県日高郡みなべ町筋 1540
TEL: 0739-72-3939

和歌山県日高郡みなべ町筋 1540
TEL: 0739-72-3939

http://www.kishuji-minabe.jp/ 紀州路みなべ 検索

二Pから続く 新藤校長メッセージ

また県内に残り、地域・県を支える若者は、専門学科の生徒の割合が圧倒的に多いといわれています。専門学科はその育成を担っていますが、不本意入学、目的意識の持たない生徒の割合が多く、志望者も減少傾向にあります。そのため、食と農園科では、特別支援教育の充実や生徒支援に重点を置いて教育活動の展開と農業に専門性を生かした実践的な教育活動を両輪で展開する必要があります。そこで、食については、新実習棟を活用し、令和四年度入学生から二十名程度の調理師免許取得コース（調理コース）を立ち上げ、資格取得をすることで食に関する職業に対する興味・関心を高め、関連産業への就職を促して行きたいと考えています。また、農業科において、和歌山県農林大学校と連携し、五年間一貫教育を考慮しており生徒の進路選択が上げられる取り組みを進めています。



更に来年度から新しいカリキュラムが始まり、農業に興味・関心があり、将来農業従事者として取り組みたいと考えている生徒に対し、特色を出す内容を考えています。例えば、農業科目の中に「ウメ」という科目をおき、地域の特産物について、苗を育てることから、収穫、加工、販売までの内容を履修します。「食品マーケティング」という科目では、既存の設備を活用し、六次産業を学ぶ事を主とし、収穫、加工、販売の各分野において地域で活躍している外部講師や地域の方々の協力を得ながら「地域とつながる」「人とつながる」を実体験して学び「地域で働ける人」を育てていくことを考えています。農業クラブ活動にも力を入れ、地域農家との連携、地元イベントに参加し販売等を通して地域との交流を行いコミュニケーション能力を育成していきたいです。また、課題研究の授業においてプログラミング学習の充実を図り、興味を持った課題に対してより深い研究を行い、継続することで高い連携に繋げていきたいと考えています。今後も生徒一人ひとりのさらなる成長と本校の一層の発展のために精一杯取り組んで参ります。

現状と今後の取り組み

和歌山県立南部高等学校
校長 神藤 恭光
大阪支部の学友会支部報の第二十五号発行に当たり、ご挨拶をいたします。今年度も、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、学校行事、クラブ活動が制限される中での学校運営となっております。八月から新型コロナウイルスの感染が第五波に入り拡大され、和歌山県の公立高校は九月一日から十七日まで分散登校となりました。和歌山県では一人一台のタブレットが配られているので、家庭学習の生徒にはオンライン学習を取り入れ対応しました。

さて、最近の南部高校の現状をお話しします。まず、入学状況です。普通科では、地元みなべ町からはこの三年間で十五%、二十%の二入すしかなくなってきたというのが現実であります。ところが、普通化志向の傾向もあり、みなべ町以外から約一クラス数程度の二入すがあります。



令和四年度で普通科が各学年二クラスに揃いますが、今後更に子ども数が減っていく中で、地域の志望状況を鑑みながら普通科のクラス削減を頭に入れておく必要があると考えています。食と農園科では、三クラスの募集で一クラス程度の生徒しか入学していないのが現実です。その中で、生徒の傾向として、様々な課題を抱えた生徒を受け入れなければならない状況が続くと予想されます。そのため、特別支援教育の充実や生徒支援に重点を置いた教育活動の展開と農業の専門性を生かした魅力ある実践的な教育活動を両輪で展開する必要がありますと考えています。

森田 恭子
昨年末、車で和歌山みなべ、田辺に日帰り帰省しました。高速道路が出来て以降、随分近くなりまし約二時間でみなべに到着です。諸々の用事を済ませて、お馴染みのお菓子、果物、海産物の買い物を楽しみました。昼食は、「紀州路みなべ」さんと眺めの良い景色を見ながら、初めて太刀魚のお刺身をいただきました。

会員の声



また、令和四年度入試からは紀北農芸高校と南部高校において、県内特別推薦、全国募集が始まります。全国募集については学友会の皆様には一層のご協力をお願いすることになると思っています。どうかよろしく願いいたします。

このような状況の中で、普通科は、現在二年次から進路を見据えた選択科目により、進学系、医療看護系、総合系に分かれて学習をすすめ、様々な進路希望に対応する学習内容になっています。ですが、普通科では七十%程度の生徒が就職希望になっているのが現状です。このことをふまえ、令和四年度入学生の二年次にデュアルシステム（学校で学ぶことと、企業や事業所で学ぶことを並行して行うシステム）で内容を週に一回、一日中（六時間程度）、一年間連携実習先に仕事をさせていたがしながら働くことについて学ぶことになり（導入）を導入し、学年に二十人ではありますが、選択科目に「デュアル基礎」二単位「デュアル総合実習」六単位を取り入れ、地域企業と連携して、「地域で働ける人を育てる」という趣旨で実施を計画しています。また、商業科等で資格取得が出来るように選択の幅を広げたいとも考えています。地元の中学生に志望してもらえれば魅力ある学習内容を提供できようと思っております。



第14期役員のご案内 (役員任期は令和4年4月1日~令和5年3月31日)

No.	役職	氏名	期別	No.	役職	氏名	期別	No.	役職	氏名	期別
1	支部長	庄司修三郎	12	6	事務局	木谷真也	13	11	幹事	田中南都子	30
2		川上宣緒	13	7		岩坂洋子	18	12	会計監査	古川民生	12
3	副支部長	延山絹子	32	8	会計	小橋恵子	18	13		中川恭子	31
4		橋本勇次	35	9	幹事	山ノ内修一	20	14	相談役	野口英雄	11
5	事務局長	田村繁雄	19	10		児島和美	21	15		御本光生	12

新役員のご案内は、本紙面上でのご紹介となり紙面を以てご承諾いただくことといたします。新役員のご承認を、いただき今後ともよろしくお願い申し上げます。



デザートは、田辺市新万の隠れ家的なカフェ ANFANG さんで、バスクチーズケーキと芳醇な味わいの珈琲です。こちらのカフェ、手作りで上質な素材でバスクの他、日替わりケーキ、焼き菓子、そして甘さ控えめのスイーツ、トホットケーキで、心も満たされます。瞬く間に時間は過ぎ、夕焼けを見つつか家に着きました。故郷っていいものです。



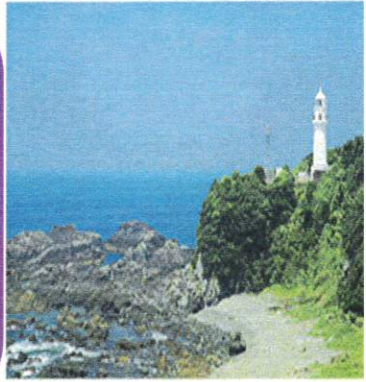
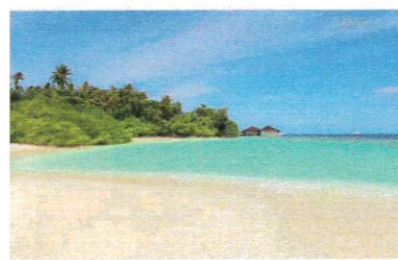
岩坂洋子 (十八期生)

私の子供の頃、勢線は白い煙を勢よく吹き上げて「ポー」と鳴いて力強く走っていた。大阪へ行く時には「トンネル」に入る時には急いで、窓を閉めた。窓から駅弁も買えた。「ネット」に入ったみかんも窓に置いてあった。大阪が近づくと「タマネギ畑」がしばらく続いてやがて遠くに「アドバルーン」がいくつも上がっていた。小学生の私には汽車の旅はわくわくして、まるで「宝石箱」を開けるようなものであった。子供心に楽しいことはいつも「南部駅」から始まっていた。若い人は知らないだろうが南部駅では、向かいのホームへ渡るには駅員が、ホームの「鉄板」を手で上げて三段くらいの階段が現れ、それを降りて又向かいのホームへ上がる為の鉄板を上げてその階段を登れば向かいのホームである。そこで、のんびりと汽車を待つのである。小学生の私には「田辺」も「大阪」も大都会であった。その楽しい南部駅が「無人駅」になるなんて! 「とうとう来たか!」それは「少子化」のせいだろうか? マイカー発達のせいだろうか? 故郷が徐々に変わっていくのは寂しいものだと思つた。



木谷真也 (十三期生)

私のヒーローたちは今? 私・木谷はただ今「七九歳」日が一昨日「よまい言」を妻相手にこぼしながら生きています。幼い頃から野球が大好きでした。時間が許すかぎり、切目浜を主戦場に遊んでいました。「ポール」は新聞紙を丸く固めたものを海に入ってしまったと即「ゲームセツト」でした。切目中学校入学後野球部へ。阪神タイガース「四番打者」藤本選手を輩出した名門校でしたが、三年間で最高成績が「ベスト八」。南部高校硬式野球部への入部は種々の理由で叶わず応援する側に。奈良「郡山高校」との定期戦などを経て、「高三」の時に夏の県大会で優勝。甲子園出場をかけた天理高校と対戦。中学時代対戦した選手たちがとも「まぶしかった」。皆さん、お元気で



宇宙専門コース新設へ!

串本古座高校に「宇宙専門コース」を新設する。紀南地域では、ロケット打ち上げをきっかけとした地域活性化や宇宙教育推進のため、宇宙に関心を持つ生徒を全国から呼び込み、生徒の確保を図る。これまで培ってきた地域と連携した取り組みを生かす。

2021年10月1日現在の人口

町名	総数	1年間の増減		
		人口増減数	自然増減	社会増減
みなべ	11,601	-217	-117	-100

自然増減とは死亡数と出生数の差
社会増減とは、転出数と転入数の差

和歌山県の人口は26年連続で減少している

橋本 勇次 (三十三期生)

この度学友会大阪支部、副支部長を仰せつかりました。三十三期卒の橋本勇次です。私の生業は、個人企業ではありますが、建設現場で働く、クレーン屋をしており、趣味はジョギング。ゴルフはしません。少し自慢できることは、三十代に二十kg超太り四十代に減量に成功、五十九歳の今まで維持していることです。住まいは貝塚市、二色浜近くのマンションの七階です。閑空に発着する飛行機が見えます。献血五十一回しています。こんな私ですが、諸先輩がたが、ご苦労して築き上げた学友会大阪支部をさらに発展させ、後輩の方々に引き継いでいくため、皆様のご指導、ご協力を賜り微力ながら任を果たすよう努力する所存です。よろしくお願ひします。



自宅からの夜景



川上宣緒 (13期生)

この度、昭和三十年代の南部高校硬式野球部の活躍を記事にしてとの依頼があり六十数年前の出来事を思い出しております。昭和三四年度の大会に於て、南部高校が初めて優勝。その時のメンバーが現大阪支部長の庄司修三郎様が三年生、私が二年生の時です。甲子園に行くためには当時、紀和大会(和歌山県代表と奈良県代表との対戦)で勝利しなければなりません。大会は奈良の球場で行われ「天理高校」との対戦で結果は二対六で負け甲子園の夢が消えました。当時野球部の部長が安部先生、監督は二期卒業の山崎繁雄様でした。今であれば甲子園に行けた思いが私たち一生の財産です。卒業後、社会人野球(全鐘紡)に入部七年間都市対抗野球に出場したり、定年後は地域の中学校で野球部のコーチをして八年間、又ソフトボールの監督をしておりとても楽しい思い出になっています。



小橋恵子 (18期生)



梅一番 井口の全商品をご紹介します
梅いちばんカタログ好評配布中!!

梅一番は新鮮な梅だけを厳選してお届けしています。

ホームページのご案内
www.ume1.com/

フリーダイヤルでお申込み下さい。
0120-197-832

株式会社梅一番 井口
和歌山県日高郡みなべ町西本庄1224

ちよつと「おませ」な女の子だった頃

高校時代は、一人で本を読んでるのが好きだった。でも小さい頃は誰とでも仲良く近しい子ども達とよく遊んでました。夏休みは一緒に勉強もした。花ちゃん、ひろちゃん、まあちゃん、とよさん、ひろあきさん、ひいちゃん、すうちゃん。懐かしいな。今どうしているかしら。そういえば幼稚園に行っていた頃大好きな男子高校生がいた。叔父の友達で時々母の実家に来ていた。ある日思ったの! 彼と遊ぼう少し遠いけれどトコトコトコト歩いて家の玄関で外から

大きなかわいい声で「てっちゃん遊びしょ」びつくりして外に出てきたおじさんが「どこの子供や。」「佐々木です。」「また学校から帰ってこんど。」「あ、さっか来たのよ。顔に少し切りキズのようなのが、ついてた。ハンサムでカッコ良かった。おじさんびつくりさせてごめんね。」

母校と大阪支部役員 交流会



昨年の十一月五日箕面市の「庄司ビル」において母校と大阪支部役員との交流会を開催した。交流内容は今年の母校「食と農園科」の生徒募集を全国から募ることになった。その説明と協力依頼の件で開催した。当日の参加者は、母校側から新藤校長、内川教頭、狩谷先生の三名が出席。大阪支部からは庄司支部長、川上副支部長、田村事務局、小橋会計、古川中川会計監査、御本相談役の七名が参加した。当日は箕面市の「みのおFM放送局」のタッキー八一、六番組に母校の先生方が、出演し今回の生徒募集が全国から募集することになった件について、箕面市の市民に広くアピールを行った。その後会場に帰ってきて、母校の今日的状況報告、全国募集になった件について説明を受け、大阪支部役員との意見交換会を実施した。母校が作成した全国募集の資料を、学友会大阪支部の会員全員に郵送をお願いしたい。学友会役員宅に全国募集のポスター掲出の依頼を受けた。後日十一月十五日に、大阪市中央区の「エル大阪」にて、岩坂・田村事務局小橋会計児島幹事の四名にて会員百六名に郵送作業を行い、母校の要請項目について作業を終了した。後日新藤校長からの連絡を受け今年の一月の時点で、大阪の地から二名の人が募集要請を受け受験の意思表明があったとのこと。たくさんさんの生徒募集に受験依頼があることを祈念いたします。今年度の生徒募集定員は「普通科」ニクラス八十名、「食と農園科」ニクラス百二十名



塗り替えられた「かえる橋」



印南町は山と海に囲まれ、自然環境に恵まれた町であり、野菜や花卉などの栽培が盛んです。また町の歴史も古く、数々の伝説や言い伝えを残す歴史遺産が町内に多く点在するなど、観光面でも魅力を秘めたまちですが、その知名度は低く、大都市圏からの来訪者や定着人口の伸び悩み、若者人口の流失等課題も抱えていました。昭和六三年度から平成元年度にかけて、国は、自治省を中心に「ふるさと創世」の起爆剤として「自ら考え自ら行う地域作り」事業（一億円事業）を推進してきました。印南町では、一億円事業として人材育成事業のため「かえる基金」を創設しました。更に、平成六年度「地域作り推進事業」を財源に、全国に類を見ない「かえる」をテーマとしたユニークな橋（かえる橋）を建設しました。多くの人々を招き入れ、町発展への願いをこめたもので、そのネーミングは「努力、忍耐、飛躍」を象徴する「柳に跳びつくかえる」をイメージし「考える」「人をかえる」「町をかえる」「古里へかえる」「栄える」という五つの「かえる」にひっかけ、ネーミングしています。

ふ る 里 歴 史 散 歩



和歌山・磯間岩陰遺跡
熊野古道の主要道や武蔵坊弁慶出生の伝承地として知られる田辺市。紀伊水道に面した田辺湾沿いの県道に立つ「磯間岩陰遺跡」の案内板は、車から見落とすので、自転車が通れるくらいに路地を五メートルほど歩き、入り口のフェンスを開けて入ると、大きくえぐられた砂岩がそびえていた。「ここから人骨や鹿の角を使った鉄剣の装具などが出土しました」。田辺市教育委員会文化振興課主任の玉置梨沙さんに案内してもらった。波の浸食作用で削られた岩陰は幅約二十三メートル、奥行きは五メートルほど。五世紀後半から六世紀にかけて営まれた人々の暮らしが浮かび上がる。

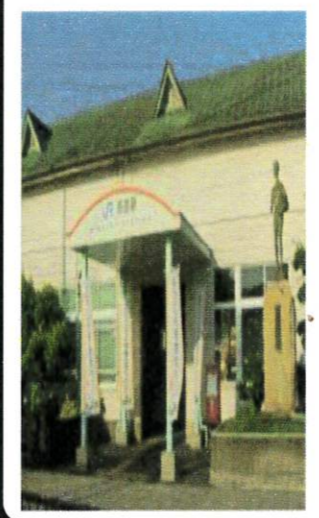


一九六九年、宅地工事に伴って人骨が見つかった。作業員はさぞびつくりしたことだろう。土器や鹿角製品も出土し翌年、帝塚山大学を中心に発掘調査が実施された。古墳時代の埋葬施設の石室八基。最大の石室は、長さ二・九メートル、幅〇・八メートルで大人と幼児の二体が並べて埋葬され、副葬品として、鹿角装の鉄剣や、やじりなどの武器、釣り針、土師器などが納められていた。古代から中世にかけて使用された火葬跡五カ所も見つかっている。

朝日新聞より転載



七九年十二月に国の史跡に指定。出土品の分析が困難だったこともあり、詳しい遺跡の内容は判明しなかったが、二十三年に岡山大教授を代表とする研究班による調査が始まり昨年三月、調査報告書がまとまった。玉置さんは「多くの人にこの遺跡を知ってほしい。今後も大切に保存していきたい」と話す。出土品が展示されている遺跡近くの市立歴史民俗資料館（同市東陽）も訪れた。展示品の一つで特殊遺構に使われたアカウミガメの肋骨板は、古墳時代のアカウミガメとされ、最近の研究で十五世紀のアオウミガメと判明したという。遺跡発見から五十年を超えても探求はつきない。



「みなべ」駅無人化
正月早々友人から年頭挨拶の中で、みなべ町の駅が無人化になったとの情報提供いただきました。会員各位には昔田舎から大阪や東京に就職するときに、駅のホームから見送った時代を思い出す人も多いと思われる。まさに人生の出发点だった。その駅が無人化されたことには多くの会員から「ショック」との声が事務局に寄せられております。和歌山県下でも高校が近くにある駅で約三百人程度の乗降客があるとかの状況で寂しい限りです。田舎の友人に状況を聞くと、乗車券は券売機で購入。購入先の駅は天王寺までの表示で、東京や名古屋に行くときは「通し購入」が出来ず割高になるとか！